

# 令和5年度指定管理業務に関する事業報告書（特養）

施設名 京都市桂川特別養護老人ホーム

## 1 施設の管理運営

【開所時間及び開所日】24時間366日  
【利用定員】特別養護老人ホーム(50名)、短期入所(4名)  
【入所者処遇(サービス提供)】  
基本理念である「一人ひとりの利用者の人権を尊重し、利用者の人達の主体性と自立性を守っていく」を念頭に「安心」「安全」「信頼」の得られる事業者として満足が得られるようにサービスを提供する。

## 2 事業実施内容

(1) 指定管理業務(本来業務:特別養護老人ホーム)  
【介護保険給付対象サービス】  
利用者に対して入浴、排泄、食事等の日常生活の介護、栄養マネジメント、相談等の精神的ケア、生活上の便宜、機能訓練、健康管理及び療養上の介護の提供。  
【介護保険給付対象外のサービス】  
食事、居住の提供、金銭管理、レクリエーション活動等。  
【サービス向上の主な取り組み】  
コロナ感染対策の実施。「人材育成委員会」を設ける。  
事業継続計画(風水害・感染症など)の策定。  
第三者評価を受審し、評価機関のアドバイスレポートに基づき、利用者主体のケアの在り方について課題の整理を行った。

(2) 指定管理業務

自主事業の実施状況は、以下の通り。

- ・自動販売機の設置

## 3 サービス提供状況

【特別養護老人ホームの職員配置】  
①管理者 1名 ⑤介護職員 20名  
②医師 3名 ⑥管理栄養士 1名  
③生活相談員 1名 ⑦機能訓練指導員 1名  
④看護師 4名 ⑧介護支援専門員 1名

【利用状況】  
一日平均利用人数 48.9名  
平均要介護度 4.06

再委託の実施状況(協定書に明記のない再委託業務)は、以下の通り。

- ・厨房業務
- ・施設敷地の除草

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

- ・市内中小企業に優先して発注するように努めている。
- ・近隣の障害者就労事業所への業務委託を行っている。

## 5 施設の利用状況(本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など)

(1)延べ利用者数

①令和5年度実績値  人

②令和6年度目標値  人

(2)稼働率

①令和5年度実績値

②令和6年度目標値

(3) 収支実績

ア 本来業務（特別養護老人ホーム） 令和5年度収入状況及び支出の状況 （単位：円）

介護保険収入	194,776,880
利用料収入	29,301,015
委託料収入	46,200
補助金収入	9,521,649
寄付金収入	0
雑収入	329,398
その他	499,384
収入計	234,474,526

人件費	173,237,827
事業費	48,374,162
委託費	25,315,640
小額修繕費	2,497,831
その他	18,847,934
支出計	268,273,394

オ 令和5年度自主事業（自動販売機）に関する収支状況（単位：円）

収入	
支出	9,400
収支状況	(9,400)

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

「満足度調査アンケート」

①実施期間 令和5年12月

②対象者 利用者及び家族

③調査方法 質問項目：13項目 無記名アンケート方式 5段階評価で実施

### (2) 利用者満足度把握の結果

「満足度調査アンケート」結果

【回答者数】40名/50名（回答率80%）

【評価方法】5段階無記名方式

【総合評価】評価結果は概ね4以上の評価をもって、提供しているサービスに対して一定の満足を得ている。その他意見において、職員の対応（言葉使い・声かけ）やレクリエーション活動への指摘があり、改善の必要が伺えた。

### (3) 意見等への主な対応状況

- ・アンケート調査でいただいた意見等については、振り返りを行い、集計結果は職員全員で供覧した。
- ・家族には集計結果を書面（広報誌）にて周知し、ホームページ上に掲載した。
- ・第三者委員会（第三者委員との懇談会）を昨年と同様に開催し、助言を受ける予定にしている。（7月開催予定）
- ・サービスの質の向上に向けて、必要な業務改善や職員研修を実施する。

## 7 その他特記事項

### (1)

--

### (2)

--

## 8 評価（指定管理者自己評価）

・令和5年度は、「個々の成長が実感できる組織づくり」を基本方針に掲げ、一昨年に大幅に改定した就業規則の遵守に努めた。また、組織管理体制（組織の構造や役割分担、意思決定のプロセス、双方向のコミュニケーション方法等）や人材確保・人材の定着・職員育成の課題が明らかになった。

事業運営においては、入所部門（特養・療護園）で新型コロナウイルスの感染拡大が見られ、短期入所事業の縮小や入院者の増減によって稼働実績に影響がみられた。老人デイサービスについては、入所・入院等により安定した利用数の確保ができなかった。

人材確保が困難な状況が継続し、特に障害サービスにおいて、取得可能な加算が算定できない状況が継続している。

令和6年度からの医療・介護・障害の報酬改定に備え、協力医療機関である京都桂病院との連携の場について、さらに強化するための打ち合わせを行った。また、高齢・障害4施設間の連携の中でも、特に西京区内3施設の感染症対策や応援体制について看護職が中心となって情報共有を開始することができた。

（令和5年度 京都桂川園 事業報告書 事業総括）

- ・特別養護老人ホームは、令和6年1月から2月にかけてコロナ感染拡大の影響により短期入所事業の受入れ停止や業務制限を行うことになった。
- ・年間を通じては新規入所の調整に苦慮するが、昨年度を上回る稼働実績を残せた
- ・経営状況は厳しい状況が継続し、介護人材の確保にも苦慮している。。

# 令和5年度指定管理業務に関する事業報告書（短期）

施設名 京都市桂川特別養護老人ホーム  
短期入所施設

## 1 施設の管理運営

【開所時間及び開所日】24時間366日  
【利用定員】特別養護老人ホーム(50名)、短期入所(4名)  
【入所者処遇(サービス提供)】  
基本理念である「一人ひとりの利用者の人権を尊重し、利用者の人達の主体性と自立性を守っていく」を念頭に「安心」「安全」「信頼」の得られる事業者として満足が得られるようにサービスを提供する。

## 2 事業実施内容

(1) 指定管理業務(本来業務:短期入所施設)  
【介護保険給付対象サービス】  
利用者に対して入浴、排泄、食事等の日常生活の介護、栄養マネジメント、相談等の精神的ケア、生活上の便宜、機能訓練、健康管理及び療養上の介護の提供。  
【介護保険給付対象外のサービス】  
食事、居住の提供、金銭管理、レクリエーション活動等。  
【サービス向上の主な取り組み】  
コロナ感染対策の実施。「人材育成委員会」を設ける。  
事業継続計画(風水害・感染症など)の策定。  
第三者評価を受審し、評価機関のアドバイスレポートに基づき、利用者主体のケアの在り方について課題の整理を行った。

(2) 指定管理業務(企画提案業務:居宅介護支援事業所)

自主事業の実施状況は、以下の通り。

## 3 サービス提供状況

【特別養護老人ホームの職員配置】  
①管理者 1名 ⑤介護職員 20名  
②医師 3名 ⑥管理栄養士 1名  
③生活相談員 1名 ⑦機能訓練指導員 1名  
④看護師 4名 ⑧介護支援専門員 1名  
【利用状況】  
一日平均利用人数 3.0名  
平均要介護度 3.03  
【事業制限】  
令和6年1月及び2月にかけて特別養護老人ホーム内でコロナ感染が拡大し、短期入所の受け入れ制限を行う。  
再委託の実施状況(協定書に明記のない再委託業務)は、以下の通り。(例:給食調理業務)  
・ 厨房業務  
・ 施設敷地の除草

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

・ 市内中小企業に優先して発注するように努めている。  
・ 近隣の障害者就労事業所への業務委託を行っている。

## 5 施設の利用状況(本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など)

(1)延べ利用者数

①令和5年度実績値 1,116 人

②令和6年度目標値 1,241 人

(2)稼働率

①令和5年度実績値 76.22%

②令和6年度目標値 85.00%

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人短期入所施設）

介護保険収入	11,580,340
利用料収入	2,443,737
委託料収入	0
補助金収入	314,405
寄付金収入	0
雑収入	0
その他	1,252
収入計	14,339,734

令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	0
事業費	919,587
委託費	2,418,704
小額修繕費	0
その他	504,410
支出計	3,842,701

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

「満足度調査アンケート」

①実施期間 令和5年12月

②対象者 利用者

③調査方法 質問項目：13項目 無記名アンケート方式 5段階評価で実施

### (2) 利用者満足度把握の結果

「満足度調査アンケート」結果

【回答者数】8名/12名（回答率67%）

【評価方法】5段階無記名方式

【総合評価】評価結果は概ね4以上の評価をもって、提供しているサービスに対して一定の満足を得ている。その他意見において、職員の対応（言葉使い・声掛け）やレクリエーション活動への指摘があり、改善の必要が伺えた。

### (3) 意見等への主な対応状況

- ・アンケート調査でいただいた意見等については、振り返りを行い、集計結果は職員全員で供覧した。
- ・利用者には集計結果を書面（広報誌）にて周知し、ホームページ上に掲載した。
- ・第三者委員会（第三者委員との懇談会）を昨年と同様に開催し、助言を受ける予定にしている。（7月開催予定）
- ・サービスの質の向上に向けて、必要な業務改善や職員研修を実施する。

## 7 その他特記事項

### (1)

### (2)

## 8 評価（指定管理者自己評価）

・令和5年度は、「個々の成長が実感できる組織づくり」を基本方針に掲げ、一昨年に大幅に改定した就業規則の遵守に努めた。また、組織管理体制（組織の構造や役割分担、意思決定のプロセス、双方向のコミュニケーション方法等）や人材確保・人材の定着・職員育成の課題が明らかになった。

事業運営においては、入所部門（特養・療護園）で新型コロナウイルスの感染拡大が見られ、短期入所事業の縮小や入院者の増減によって稼働実績に影響がみられた。老人デイサービスについては、入所・入院等により安定した利用数の確保ができなかった。

人材確保が困難な状況が継続し、特に障害サービスにおいて、取得可能な加算が算定できない状況が継続している。

令和6年度からの医療・介護・障害の報酬改定に備え、協力医療機関である京都桂病院との連携の場について、さらに強化するための打ち合わせを行った。また、高齢・障害4施設間の連携の中でも、特に西京区内3施設の感染症対策や応援体制について看護職が中心となって情報共有を開始することができた。

（令和5年度 京都桂川園 事業報告書 事業総括）

- ・特別養護老人ホームは、令和6年1月から2月にかけてコロナ感染拡大の影響により短期入所事業の受入れ停止や業務制限を行うことになった。
- ・年間を通じては新規利用の調整に努め、昨年度を上回る稼働実績を残せた
- ・経営状況は厳しい状況が継続し、介護人材の確保にも苦慮している。